

飯森館

limorikan
(長野県白馬村)



右の建物が飯森館、左の斜面がいいもりゲレンデ

久しぶりに白馬にスキーをしにやってきた。あいにく今年は暖冬で雪不足の状況である。いつもなら年末のこの時期に 2m 近くの積雪があるゲレンデも、50cm ほどの積雪しかなく、ゲレンデ上部のみオープン。このため、狭い場所に多くの客が押し掛け、リフト待ちは大変なものであった。

我々取材班は、白馬五竜スキー場のいいもりゲレンデ近くにある飯森館に宿泊。向かいはずでに当愛好会でも取材済みの十郎の湯という日帰り温泉施設だ。周辺はいかにも田舎の町という感じの雰囲気である。

飯森館は外観が少々古びた様子の民宿である。しかし、内部はリノベーションが行われたようで、特に客室はかなりきれいである。廊下には大量の漫画本が置かれており、暇つぶしにはもってこいである。地下には広々とした乾燥室とチューンアップルームがあり、取材班のメンバーとチューンアップをしながら飲み会を開催してしまったほどだ。

食事は華美ではないが、これからスキーをしようという体、スキーをした後の体には必要十分な質と量である。また、スタッフが皆大変親切丁寧で、居心地が良い。

さて、飯森館の風呂を紹介しよう。風呂は 1 階にあり、男女別。脱衣室には籠があるがロッカーはないので、貴重品は持ち込まないようにしよう。浴室には洗い場が 3 か所、浴槽は定員 4 人程度だろうか。洗い場にはシャンプー、コンディショナー、ボディソープが完備。浴槽の湯加減は適温だ。

残念ながら飯森館の風呂は温泉ではなく沸かし湯である。もしどうしても温泉に入りたければ、十郎の湯まで徒歩約 30 秒である。この場合は飯森館で割引チケットをもらってい

こう。飯森館の規模から考えると、飯森館の風呂は小さいような気がするが、十郎の湯を利用する客が多いからだろうか。飯森館に 3 泊しても飯森館の風呂が混雑することはなかった。

がつつりスキーをする人も、ゆったりスキーをする人も、飯森館が包み込んでくれるホスピタリティーと雰囲気は、十分に宿としての癒しをもたらしてくれるであろう。さすがに白馬にはいい宿がある。そんな思いを胸に、白馬を後にした。

2015 年もあと少しで終わりだ。2016 年はどんな風呂に出会えるであろうか。

- 名称：飯森館
- 所在地：長野県北安曇郡白馬村大字神代飯森 25839
- 電話：0261-75-2403
- 営業時間：要確認
- 定休日：無休
- 入浴料：宿泊者は無料
- サウナ：なし
- サウナ内のテレビ：なし
- 取材日：2015 年 12 月 25 日（金）～28 日（月）
- 取材：銭湯愛好会東京支部